

リエゾン・キャラクターの紹介

テキストには、ハリー先生と3人のゼミ生たちが登場します。本学の文化会サークル「絵を描く会」の協力により生まれたキャラクターです。キャラクターを紹介します。

●ハリー先生（ハリネズミ）



羅針盤の針のように、皆さんに学びの歩みを示し、皆さんが主体的に学んでいくことを支え、親身になって相談にのってくれるリエゾンゼミ I の担任です。時には、ずっこけることもあります。

●こころ（犬）



しっかり者のゼミ生です。2つのハートを表す本学のシンボルマークの髪飾りをつけ、しっぽやおしりにもハートの形があります。責任感も強く、みんなから頼りにされるので、一人で抱え込んでしまい、悩むこともあります。

●つばさ（ペガサス）



理想家肌のゼミ生です。「天伝う日の光」（校歌の一節）の中を飛翔します。「天伝う」とは「大空を伝い渡る」という意味です。理想と現実のギャップに悩むことも多くあります。自分にもまわりにも理想を求めるので、理想に届かない自分がかっかりしたり、現実離れた理想を熱く語ってまわりとぶつかったりすることもあります。

●ふくにゃん（ネコ）



ちょっとおとぼけで、さびしがり屋のゼミ生です。自在に動くしっぽは「リエゾン（つながり）」を表し、おしりにハートマークがあります。まわりはふくにゃんのおとぼけに寛大ですが、時にはあまりのおとぼけにひんしゆくを買うこともあります。

